

市政アンケート2018 12,000通を超える返信 (11月21日現在) 中間集計の結果をお知らせします

日本共産党名古屋市議団の市政アンケートは、8月1日から11月21日までに12,012通（うちネット回答441）になりました。このうち10,065通について集計ができましたので、その一部を紹介します。

45%の人が暮らし向きが悪くなった

暮らし向きは、回答者の45%が悪くなった、やや悪くなったと答え、市政への要望では、ムダな公共事業の削減をトップに、敬老パスの利用拡大、介護や医療などの負担軽減とサービス拡充などとともに、浸水対策などが多くなっています。

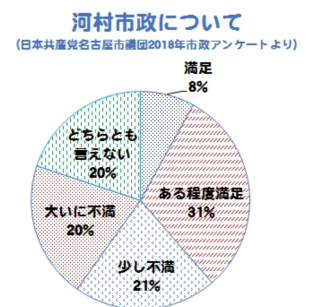
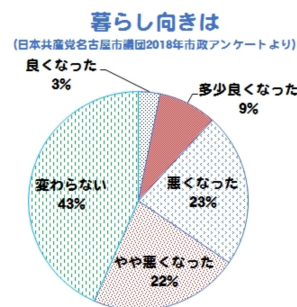
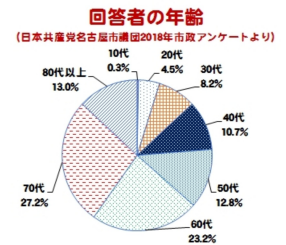
市長が何といても木造化推進は30%

天守閣の木造化は市長が既定路線と言い張って突き進んでいますが、「木造化推進」、「いったん立ち止まる」、「耐震改修」がいずれも3割づつでした。

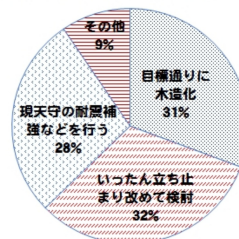
議員報酬では「800万円に戻す」が44%、「第三者機関での議論を」は41%、1450万円は6%でした。

WEBでの回答も多数に

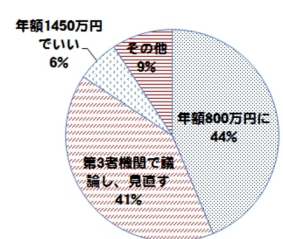
その他、年代別や区別などの詳細集計は最終集計の時にを行います。今回、WEBでの回答も受付けています。集計が即時にできますので、441通分ですが、その結果も参考に紹介します。



名古屋城天守閣の木造化には
(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)



議員報酬について
(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)



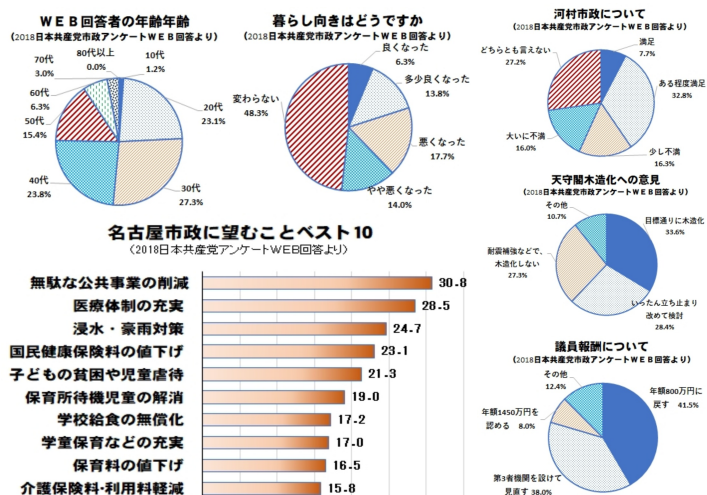
名古屋市政にのぞむこと

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)



WEBでの回答の結果

回答者の年齢層は、全体の回答者年齢で40代以下が22%だったのが75%になっています。要望も子育て支援が高くなっています。



昭和区で市政懇談会を開催 アンケート結果も報告

日本共産党は11月22日に市政懇談会を行いました。

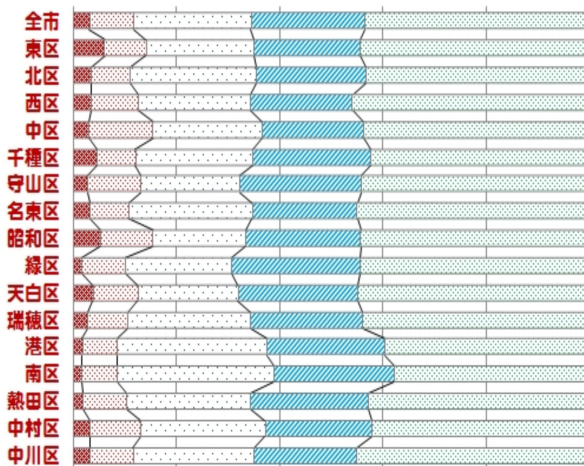
今回は会場を昭和区生涯学習センターに出かけ、皆さんの意見を伺い、14名の方から意見をいただきました。



暮らし向きについて

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)

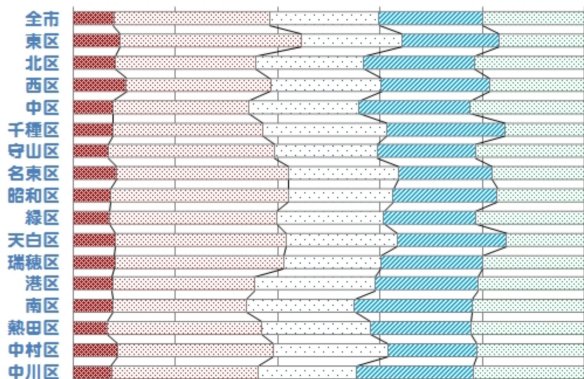
■良くなった ■多少良くなった □悪くなった ■やや悪くなった ■変わらない



河村市政について

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)

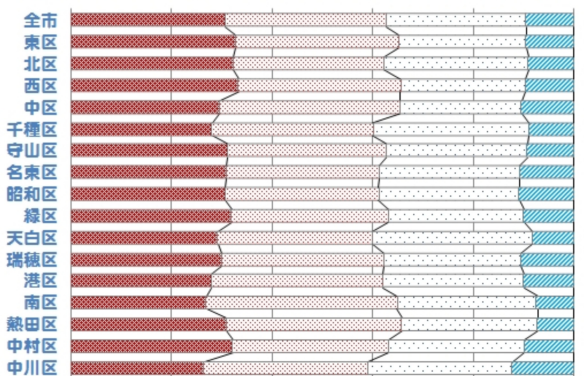
■満足 ■ある程度満足 □少し不満 ■大いに不満 ■どちらとも言えない



名古屋城天守閣木造再建について

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)

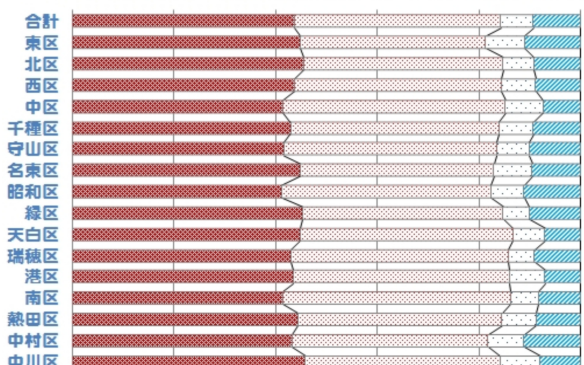
■2022年12月に木造化 ■いったん立ち止まり検討 □現天守閣の耐震補強 ■その他



議員報酬の額について

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)

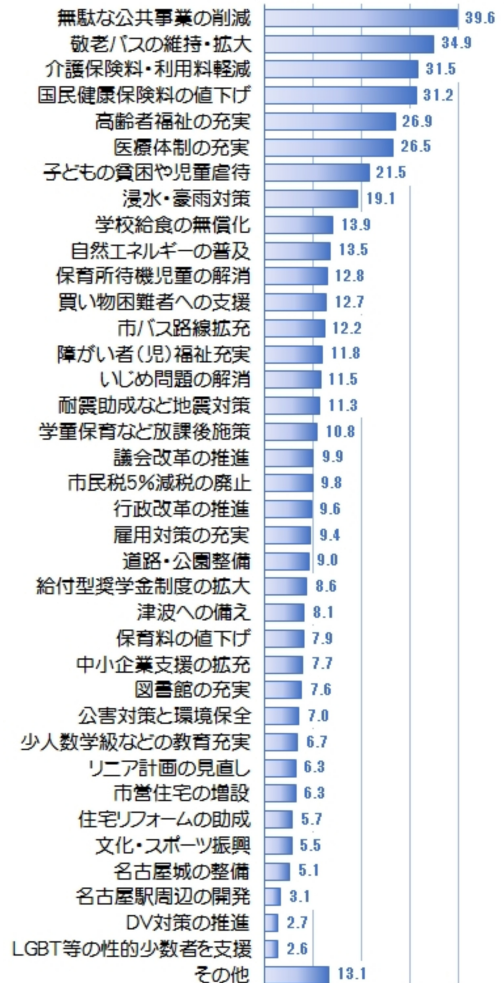
■年額800万円に ■第3者機関を設け見直す □年額1450万円 ■その他



名古屋市政にのぞむこと

(日本共産党名古屋市議団2018年市政アンケートより)

(%)



名古屋市政に望むこと

(2018日本共産党アンケートWEB回答より)

